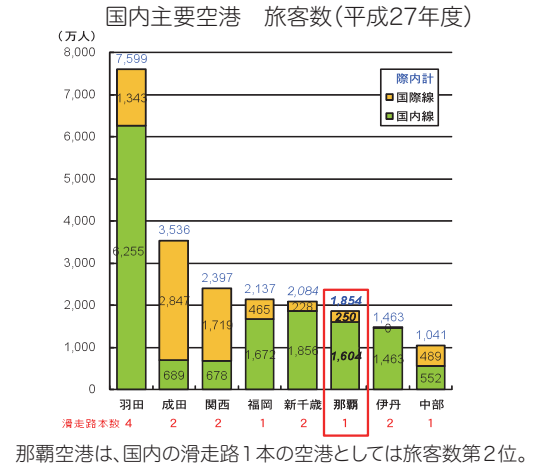


社会資本の整備

平成 28 年度に沖縄を訪れた外国人観光客数は初の 200 万人台を記録し、213 万人と過去最高を記録するなど沖縄を訪れる入域観光客数は急速に増加しています。これら観光客の受入体制を強化するため、社会資本の整備を推進しています。

1 離発着の処理能力の向上を図るため、那覇空港の滑走路を増設しています。



<現在の那覇空港>

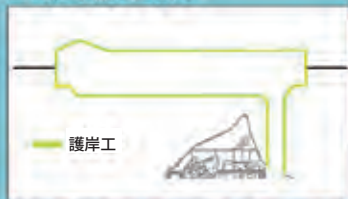
- 所在地 : 沖縄県那覇市
- 滑走路 : 長さ 3,000m×幅 45m
- 空港面積 : 約 330ha
- 種別 : 拠点空港(国管理空港)
- 運用時間 : 24時間
- 乗降客数 : 国内 1,695 万人、国際 308 万人 (平成 28 年度、過去最高)

<第2滑走路計画概要>

- 滑走路 : 長さ 2,700m×幅 60m (現滑走路の 1,310m沖合)
- 埋立面積 : 約 160ha
- 発着回数 : 年間約5万回増加 (13.5 万回/年→ 18.5 万回/年)※ ※ヘリコプター及び深夜離発着機は含まず
- 工事着手 : 2014 年(平成 26 年)1月
- 供用開始 : 2020 年(平成 32 年)3月末予定

工事の基本的な流れ

Step1:護岸工事



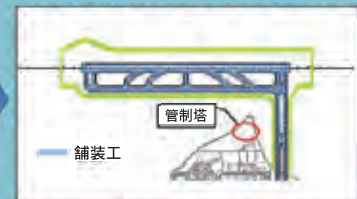
①外周を取り囲む護岸をつくります。

Step2:埋立工事



②護岸の内側に土砂を投入し埋立をします。

Step3:舗装工事・空港施設工事



③滑走路の舗装や管制塔・レーダーなどの設置を行います。

